



<p>③その他の清掃活動</p> <p>④特定外来種調査・駆除</p>	<p>新たな試みとしてゴミゼロの日にあわせて、5月29-30日に「海をつくる会」との共催で青木ヶ原及び西湖・河口湖の清掃活動イベント「Fujiyama まるごと清掃活動」を実施し、タイヤの不法投棄や湖底に沈む船体、数多くの釣り具などを回収することができたとともに、親睦を深めることができた。</p> <p>富士山クラブの活動に数多く協力してくれている学生ボランティア企画集団「NUTS」のメンバーが主催となって、首都圏23区内で実施した「学生23区清掃活動」に協力した。</p> <p>侵略的な外来生物が及ぼす富士山麓の在来種を含む生物多様性への影響を可能な限り抑止するとともに、富士山からの新たな拡散を防ぐために、今年から新たなプロジェクトとして特定外来植物の分布調査活動及びそのデータに基づく駆除活動を開始した。</p> <p>特定外来種分布調査は、当初3年計画の予定だったが、調査効率を高く実施することができたために、今年度中に富士山麓全域の調査を完了することができた。調査に関しては専門家の評価や指導も受けて進め、調査データはデータベース化し地図上で可視化できるようにした。</p> <p>駆除活動については、幹線道路周辺や西湖畔のオオキンケイギクをターゲットとして、これまで清掃活動を実施して下さっている企業団体等に働き掛け、定例クリーン活動での実施も行ったので計10回実施することができた。詳細は以下の通り。</p> <table data-bbox="555 1534 1396 1720"> <tr> <td>全活動回数</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>活動参加者合計</td> <td>457人</td> </tr> <tr> <td>オオキンケイギク駆除数</td> <td>595 kg (105,000 シュート)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※シュートは駆除株数の単位</td> </tr> </table>	全活動回数	10回	活動参加者合計	457人	オオキンケイギク駆除数	595 kg (105,000 シュート)		※シュートは駆除株数の単位
全活動回数	10回								
活動参加者合計	457人								
オオキンケイギク駆除数	595 kg (105,000 シュート)								
	※シュートは駆除株数の単位								
<p>2. 環境教育活動</p> <p>①教育プログラム</p>	<p>前年度に引き続き、富士山の清掃活動や自然体験活動などを通じた活動を展開することができた。環境教育プログラムとしての清掃活動は、岩手や広島など全国の学校との活動も実施することができ、年間20回実施することができた。</p>								

<p>②定例グリーン活動</p> <p>③リーダー養成講座</p> <p>④その他</p>	<p>また、清掃活動をする必要のある森の大切さや貴重な自然への負荷について学ぶトレッキングプログラムを複合させた活動の回数を増加させることができたことで、活動への理解度を高めることができた。</p> <p>通常の活動では実施していない登山道やトレッキングルートを散策しながら、清掃活動を実施するトレック&amp;クリーンプログラムを10月と11月の2回実施した。その他の野外活動プログラムを2回実施する予定だったが、最少催行人数に満たなかったことと、3月の東日本巨大地震発生の影響のため中止した。</p> <p>既存の富士山クラブ個人会員が、より直接的に活動に携われるようブルーリーダー養成講座、並びにグリーンリーダー養成講座を開催する予定だったが、新規受講人数が少なかったこともあり今年度は実施しなかった。</p> <p>しかし、既存の環境教育スタッフが独自にスキルアップを目指した学習会を実施、外部教育機関のガイドセミナーを受講するなどして、スタッフのスキル向上を図ることができた。</p> <p>今年度は、「NPO 法人リベラヒューマンサポート」と、東京の「エコ探究会」のメンバーによる夏季キャンププログラムをそれぞれもりの学校を拠点に実施することができた。両活動ともに単なるキャンププログラムではなく、清掃活動や外来種駆除の環境保全活動を盛り込んだ内容にすることができた。また、富士山クラブ主催の子どもキャンプを夏に企画したが、催行人数に満たなかったため中止し、冬にも企画したが同様の理由で行うことができなかった。</p>
<p><b>3. 森林保全活動</b></p> <p>①森づくり</p>	<p>8月、9月に2回、11月の計4回。前年度に調査記録したブナやミズナラ、キハダを中心とした生育状況の確認及び防護ネット等による食害対策の活動を実施した。ニホンジカによる食害は富士山地域で深刻な問題になりつつあり、富士山国有林森づくり連絡協議会（事務局：静岡森林管理署）のメンバーとして現状把握などの実地調査に参加し情報交換を行うことができた。西臼塚で管理している国有林について、静岡県森林管理署</p>

<p>②富士山南面森林調査</p>	<p>との管理協定契約は、2010年9月までとなっていたので協定契約を更新し今後も活動を継続させていく。</p> <p>調査の進捗状況は、17年度から今まで、1,200本を超える巨木を記録することができた。調査は月2回実施の予定だったが、雨天や震災の影響等により全14回の実施となった。未調査地域に加え、調査済み地域の補足調査も実施し、調査エリアは富士宮市から富士市に移行している。</p> <p>またこの調査では、静岡県版レッドデータブックに掲載されている植物を12種類記録できたとともに、ニホンジカによる樹皮剥ぎ等の食害痕や、富士山エリアで絶滅が懸念されるツキノワグマなどのフィールドサインも多く記録することができた。</p>
<p>4. ネットワーク活動</p>	<p>本部を山梨事務所に移転したことにともない、地元周辺の住民や団体等とのネットワーク強化を図っている。また東京で構築してきた行政や企業・NPO等との緊密なネットワークを維持するために努力した。</p> <p>会員同士のネットワーク、地域コミュニティとの活動交流の一環としてのツアープログラムを計3回実施した。7月1日に開山祭見学ツアーを実施し、7月20日・21日の会員富士登山ツアー、7月30日・31日には神田紫さんとの富士登山を実施した。</p> <p>富士山での環境保全活動から全国的な環境保全活動へとネットワークを広げるため、ふるさと清掃運動会実行委員会の一員として、団体会員、活動参加団体に「第4回ふるさと清掃運動会」への参加を呼び掛けた。</p> <p>姉妹山マウントレーニア国立公園の、日米教育交流の国際プロジェクトに協力し、地元の教育委員会と連携、交流ネットワーク作りに参加し、教育機関との協力関係を強くした。8月に静岡県より高校教師2人、山梨県より中学教師3人がマウントレーニア国立公園で行われるワークショップに派遣した。また合わせて、会員ら7人がマウントレーニア国立公園を訪問、キング公園副長官らと面談した。</p>

	<p>首都圏会員親睦会「このはなさくやひめ会」(通称このはな会)、環境教育スタッフの会「AFG48」が発足、事務局と連携をとり、会員の親睦と連帯のため、会員イベント、自主企画などを実施した。</p> <p>年末の恒例もりの学校大掃除では、会員らが多く参加し、事務局、会員で相互交流した。</p>
<p><b>5. 広報活動</b></p> <p>①クラブ通信・WEB</p> <p>②フォーラム・セミナー</p> <p>③イベント・出展</p>	<p>富士山クラブ通信は年3回発行した。全面リニューアルしたホームページを6月から運営し、ブログ形式での活動報告や活動のお知らせをビジュアル的に見やすいものとした。また活動報告だけではなく四季の変化や富士山麓周辺での出来事なども掲載頻度を高め、富士山クラブからの情報発信量を飛躍的に増加させた。ツイッター活用も始めた。</p> <p>富士山の日フォーラムは、本年度から正式にスタートさせた特定外来種の問題について、「富士山の環境を外来種から考える」と題して初めての静岡県富士市で開催した。富士山クラブの調査報告と有識者による外来生物の問題点、また先行事例の発表を通じて、より多くの人にこの問題について認識してもらえるような内容とした。</p> <p>富士山クラブの活動をより多くの人に知ってもらうため、環境省や市民団体ネットワークなどが行う NPO の活動紹介イベントに参加、ラジオ番組への出演などを行った。</p> <p>7月には GEIC で行われた「環境ボランティア見本市」、また9月には「富士山チャリティ駅伝」「Mt. FUJI エコサイクリング」会場内で出展し、富士山クラブを広く紹介することができた。</p> <p>10月に愛知県名古屋市で行われた COP10 の生物多様性交流フェア会場内でブース出展するとともに、会期中合計2回「生物多様性保全に向けた富士山クラブの取り組み」と題したプレゼンテーションを実施し、多くの来場者に富士山クラブの活動内容を認識してもらうことができた。</p>

<p><b>6. 富士山大好き！ 百人の会</b></p>	<p>全国で様々な団体によって多くの清掃活動や環境保全活動を展開する「ふるさと清掃運動会」の呼びかけを通じて、富士山クラブの応援団としてご協力していただいた。ふるさと清掃運動会は、第4回目となり、全国360カ所で、過去最高4万人が参加した。</p> <p>百人の会メンバーである神田紫さんには、7月富士登山で富士山頂での講談を披露していただいた。鏡味仙三さんも講演会などで、富士山クラブの紹介やパンフ配布などで協力いただいた。</p>
<p><b>7. 財務基盤の強化</b></p>	<p>東京事務所を閉鎖し、山梨事務所に本部を移して経費削減を行った。企業からの寄附を積極的に呼びかけ、企業とのタイアップキャンペーン企画を実施、目標を大幅に超える寄附の協力を得ることができた。</p> <p>定例清掃活動やフォーラムなどで、入会を積極的に呼び掛け、富士山クラブグッズ（缶バッチ等）の販売、募金活動も継続して実施した。</p> <p>認定NPO申請（3月）を行い、団体としての社会的信頼性を高めるとともに、来年度は、会員、個人、支援団体が寄附をしやすく、また税控除のメリットが受けられるよう、準備した。</p>
<p><b>8. その他</b></p>	<p>富士山クラブもりの学校事務所部分について、防寒のための修繕を行った。</p>

平成22年度 収支計算書  
 特定非営利活動法人富士山クラブ  
 平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位:円)

科 目	H22年度 予算額(A)	H22年度 実績額(B)	差異 (A-B)	備 考
<b>【経常収入の部】</b>				
1.会費収入	6,300,000	5,821,000	479,000	
2.活動収入				
環境保全活動収入	11,600,000	10,865,250	734,750	団体・企業清掃、クリーン活動
森林保全活動収入	0	0	0	
環境教育活動収入	6,000,000	6,262,310	△ 262,310	環境教育、グリーン活動、リーダー養成
ネットワーク活動収入	400,000	1,583,363	△ 1,183,363	開山祭、富士登山
広報活動収入	0	0	0	
富士山大好き！百人の会収入	0	0	0	
小計	18,000,000	18,710,923	△ 710,923	
3.助成金・補助金等収入	11,500,000	14,334,489	△ 2,834,489	セブン-イレブンみどりの基金、環境省グリーンワーカー事業
4.協賛金・協力金収入	3,000,000	3,305,000	△ 305,000	㈱毎日新聞社、富士急行㈱
5.募金・寄付金収入	17,000,000	28,065,627	△ 11,065,627	水と緑と命の基金への募金、企業団体等よりの寄付
6.雑収入	2,200,000	1,864,989	335,011	もりの学校使用料、グッズ販売など
経常収入合計(①)	58,000,000	72,102,028	△ 14,102,028	
<b>【経常支出の部】</b>				
1.活動費				
環境保全活動費	14,250,000	11,662,273	2,587,727	団体・企業清掃、外来種調査・駆除活動、定例クリーン活動
森林保全活動費	5,000,000	4,212,576	787,424	森づくり、森林調査
環境教育活動費	11,150,000	7,351,559	3,798,441	教育プログラム1・2、グリーン活動
ネットワーク活動費	600,000	1,553,009	△ 953,009	開山祭、富士登山、首都圏の会
富士山大好き！百人の会活動費	100,000	15,667	84,333	
広報活動費	5,000,000	3,012,887	1,987,113	ホームページ、富士山クラブ通信、富士山の日フォーラム、イベント、出展、講演、グッズ製作
小計	36,100,000	27,807,971	8,292,029	
2.助成金・補助金事業費	0	0	0	
3.管理費	13,800,000	17,385,049	△ 3,585,049	
経常支出合計(②)	49,900,000	45,193,020	4,706,980	
経常収支差額③(①-②)	8,100,000	26,909,008	△ 18,809,008	

**平成22年度 収支計算書**  
 特定非営利活動法人富士山クラブ  
 平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位:円)

科 目	H22年度 予算額(A)	H22年度 実績額(B)	差異 (A-B)	備 考
<b>【その他資金収入の部】</b>				
1.敷金等戻り収入	0	1,000,000	△ 1,000,000	東京事務所分
2.夢債券積立金取崩収入	525	525	0	残高証明書分
その他資金収入合計(④)	525	1,000,525	△ 1,000,000	
<b>【その他資金支出の部】</b>				
1.もりの学校修繕支出		3,871,507	△ 3,871,507	
2.車両購入支出		4,221,372	△ 4,221,372	
3.什器備品購入支出		480,165	△ 480,165	
4.一括償却資産購入支出		249,680	△ 249,680	
5.ロゴ商標取得支出		224,000	△ 224,000	
6.建設仮勘定		2,385,000	△ 2,385,000	
7.もりの学校修繕積立金支出	3,000,000	4,000,000	△ 1,000,000	
8.環境教育資金積立金支出		1,000,000	△ 1,000,000	
9.森づくり資金積立金支出		4,000,000	△ 4,000,000	
10.車両維持費積立金支出	10,000,000	12,296,530	△ 2,296,530	
11.水と緑と命の基金積立金支出	1,040,000	293,242	746,758	
その他資金支出合計(⑤)	14,040,000	33,021,496	△ 18,981,496	
<b>当期収支差額⑥(③+④-⑤)</b>	<b>△ 5,939,475</b>	<b>△ 5,111,963</b>	<b>△ 827,512</b>	
前期繰越収支差額⑦	14,037,523	14,037,523	0	
<b>次期繰越収支差額(⑥+⑦)</b>	<b>8,098,048</b>	<b>8,925,560</b>	<b>△ 827,512</b>	

# 平成22年度 一般会計 貸借対照表

特定非営利活動法人富士山クラブ  
平成23年 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
<b>I. 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	17,110		
預金	31,412,858		
貯蔵品	349,099		
前払金	10,710		
未収金	207,000		
前払費用	674,195		
流動資産合計		32,670,972	
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備	22,222,877		
構築物	844,200		
車両運搬具	13,665,413		
器具・備品	507,948		
一括償却資産	201,204		
(減価償却累計額)	△ 21,710,284		
有形固定資産合計	15,731,358		
(2) その他固定資産			
電話加入権	55,000		
保証金・敷金	150,000		
長期前払費用	51,850		
無形固定資産	216,534		
建設仮勘定	2,385,000		
環境基金預金	9,176,314		
夢債券償還積立預金	6,222,000		
その他固定資産合計	18,256,698		
固定資産合計		33,988,056	
資産合計			66,659,028
<b>II. 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	871,636		
前受金	200,000		
預り金	111,990		
未払法人税等	152,600		
未払消費税等	488,600		
流動負債合計		1,824,826	
<b>2. 固定負債</b>			
長期借入金	6,100,000		
固定負債合計		6,100,000	
負債合計			7,924,826
<b>III. 正味財産の部</b>			
繰越正味財産		35,174,867	
当期正味財産増加額		23,559,335	
正味財産合計			58,734,202
負債及び正味財産合計			66,659,028

平成22年度 一般会計 財産目録

特定非営利活動法人富士山クラブ  
平成23年 3月31日現在

(単位:円)

科目		金額		
<b>I. 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金				
現金				
		17,110		
みずほ銀行	神谷町支店	22,347,371		
三菱東京UFJ銀行	浜松町支店	3,000,000		
スルガ銀行(解約済)	三島セントラル支店	0		
ゆうちょ銀行	港浜松町郵便局	0		
ゆうちょ銀行	鳴沢郵便局	2,330,051		
ゆうちょ銀行	世界貿易センター内郵便局	0		
ゆうちょ銀行	鳴沢郵便局	1,578,428		
ゆうちょ銀行	鳴沢郵便局	140,031		
東京都民銀行	浜松町支店	2,016,977		
貯蔵品	Tシャツ、缶バッチ	349,099		
前払金	高速バス回数券	10,710		
未収金	活動請求分	207,000		
前払費用	事務所家賃他	674,195		
	流動資産合計		32,670,972	
<b>2. 有形固定資産</b>				
建物付属設備				
	もりの学校内部造作 他	22,222,877		
	(減価償却累計額)	-11,007,675		
構築物				
	もりの学校衛生設備 他	844,200		
	(減価償却累計額)	-671,596		
車両運搬具				
	環境保全パトロールカー 3台	13,665,413		
	(減価償却累計額)	-9,568,998		
器具・備品				
	もりの学校放送設備 他	507,948		
	(減価償却累計額)	-462,015		
一括償却資産				
	ステレオアンプ	201,204		
	有形固定資産合計		15,731,358	
<b>3. その他固定資産</b>				
電話加入権				
	5台	55,000		
敷金 静岡事務所				
	富士総合開発観光(株)	150,000		
無形固定資産				
	富士山クラブロゴ商標	216,534		
建設仮勘定				
	WEB教材仕掛	2,385,000		
長期前払費用				
	車両リサイクル預託金 3台分	51,850		
	その他固定資産合計		2,858,384	
<b>4. 長期目的積立預金</b>				
環境基金積立預金 三菱東京UFJ銀行				
		普通預金 0611041	9,176,314	
夢債券償還積立預金 三菱東京UFJ銀行				
		普通預金 0611067	6,222,000	
	長期目的積立金合計		15,398,314	
	資産合計			66,659,028
<b>II. 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金				
		871,636		
前受金				
		200,000		
預り金				
	源泉所得税	111,990		
未払法人税等				
	法人住民税	152,600		
未払消費税当				
	消費税	488,600		
	流動負債合計		1,824,826	
<b>2. 固定負債</b>				
長期借入金				
	夢債券	6,100,000		
	固定負債合計		6,100,000	
	負債合計			7,924,826
	正味財産			58,734,202